

令和5年度 第2回長崎県地域職業能力開発促進協議会
議事要旨

日時 R6.2.26(月) 13:30～15:30
場所 長崎労働局 8階会議室
出席者 別添名簿のとおり

長崎労働局長あいさつ

◆議題

(1) 長崎県地域職業能力開発促進協議会設置要綱の改正について

【事務局】

- 資料1に基づき「長崎県地域職業能力開発促進協議会設置要綱の改正」について説明
～異議なし～

●原案のとおり決定

(2) 令和5年度の公的職業訓練実施状況について

【事務局】

- 資料2～4に基づき「令和5年度の公的職業訓練実施状況」について説明

【長崎県】

- 資料4 県の施設内訓練・在職者訓練及び県の委託訓練について説明

【機構長崎支部】

- 資料4 ポリテクセンター長崎、佐世保の施設内訓練及び求職者支援訓練について説明

◆意見・質問等◆

【会長】

- 県の説明の中で、辞退をされた方がいるということですが、入校する前に就職が決まったという理解でよろしいか？

【長崎県】

- 辞退者については、合格発表があった後に他の学校に決まったということで辞退となった。

【会長】

- 途中でやめられた方というのは？

【機構長崎支部】

- ポリテクセンターでは、訓練途中で就職が決まりやめる方が増えてきている。訓練中に求職者情報を企業へ提供し、それに基づきリクエスト求人数が増えてきており、1人の訓練生に対し20件ほどのリクエスト求人が発生し、訓練生が慎重に選ぶような状況も見られる。

【長崎県】

- ・高等技術専門校も訓練中に退校する者は何名かいる。理由として、ミスマッチを防止しながら科の内容を説明しているが、入校した後に実際に勉強している中で、やりたい事と違い方向転換で退校が多い。

【会長】

- ・就職率で IT 分野が他の分野に比べて低くなっているが、何か分析や原因は労働局のほうで把握しているか。

【事務局】

- ・ミスマッチがおきている。面接をした時に、求職者側と求人者側の求めるものが違うケースが要因としては考えられると分析はしている。
就職率を少しずつ上げていくということが重要であると考えている。
- ・訓練を受講せずに全体の就職率をみると大体3割～4割という傾向が見て取れる。訓練を受ければ、就職率は高くなるということは間違いない。その中でも就職率が低い分野については高くなるように今後求人事業主の方、訓練校も含めていろいろ話をする中で、訓練の場・求人の方それぞれで、出来ることをしていただけるように支援していきたいと考えている。

【松永委員】

- ・人手不足で厳しい状況になっているが、特に長崎地域では観光業がかなり苦勞している。観光業界の皆さんからは、ここをなんとかしないと業界的にも大変なことになるという状況になっている。会議の中でも人材育成をする機関を作ることができないかという話をしている。高校の中にそういう学科を作ってもらってもいいし職業訓練の中にそういうのがあればいいし、できれば大学の中にでもそういうコースを作ってもらえないかなという話がある。資料4（P1）の「離職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模」で旅行・観光分野はコース数3、定員60、受講者数22で、かなり受講者数が低い。もしわかれば、何故低くなっているのか理由があれば教えて欲しい。

【事務局】

- ・観光分野に関しては、実際に人手が足りない。現実には求人が多く出ている状況にある。当分野は、経験がなくても雇うところが相当数あり、訓練に行くよりは早期就職を希望する者も少なくない状況にある。

【松永委員】

- ・資料2（P5）の「職種別 新規求人数・新規求職者数・就職件数比較」の「09 サービスの職業」で新規求人数が13,648人、新規求職者数が7,879人、就職件数が2,352人とあまり就職されていない。そのあたりがよくわからなく、今後人材育成をどうするかという議論になった時に、そのあたりがよくみえていれば考えられるかと思うがいかがでしょうか。

【事務局】

- ・求職者が観光業に対する憧れというか意欲は感じているが、実際にハローワークで相談をしていく中で不規則な勤務に対して若干抵抗感が出ているという話は聞いている。
- ・求人側も建物の建て替えによって清掃などを簡単にするようにし、働き方改革につながるよ

うな取り組みをされているところも増えてきているが、環境の難しさもあいまって、なかなか循環がうまくいってない状況にある。訓練を受けてステップアップ、キャリアアップを行い就職できればいいが、人出不足であることから採用の基準を下げ採用して早期離職になるケース見受けられる。

【松永委員】

- ・限られた求職者を取り合いになっており、人材育成で外部人材をなんとかする。そういう取り組みを教育の観点でやらなければいけないと思っている。

(3) 令和6年度長崎県職業訓練実施計画方針（案）について

【事務局】

- ・資料5に基づき「令和6年度長崎県職業訓練実施計画（案）」について説明

【長崎県】

- ・資料5 長崎県の計画について説明

【機構長崎支部】

- ・資料5 ポリテクセンターの計画について説明

～異議なし～

- 計画（案）について、全員承認

(4) 訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定について

【事務局】

- ・資料6に基づき「訓練効果の把握・検証等を実施する訓練分野の選定」について説明

◆意見・質問等◆

【会長】

- ・対象のところで、訓練修了者を採用した企業にヒアリングを行うとなっているが、企業の選定は実際に行った人ということになるのか？ある程度限られるということになりますか？

【事務局】

- ・全てについては実施できないが、受講生も多く就職者数も多い分野なので可能な限り、話を聞かせていただき次回の協議会で報告させていただきたいと考えている。

【会長】

- ・この分野だと汎用性が高い。先ほど松永委員からの話にもあったように観光分野のところでも直接「営業・販売・事務」が出てこないにしても次回につながるような話が出てこないに限らないのでヒアリング対象の企業の業種にはいろいろ考えていただければよろしいかと思う。

【事務局】

- ・求人事業主の声で、求人充足支援が非常に強く求められているので、その選定については訓練施設の皆様によく相談をし、対象を決定したいと考えている。

事業主の方にも相談することもあるかと思しますので、その際はよろしく申し上げます。

(5) 公的職業訓練の広報等について

【事務局】

- ・資料7に基づき「公的職業訓練の広報等」について説明

◆意見・質問等◆

【岩崎委員】

- ・実際に体験型のイベントを「出島メッセ長崎」で行なったのはいいと思う。ランタンフェスティバルの開催と重なったこともいいタイミングであった。エフエム長崎の番組内でも朝から宣伝していた。こういうイベントは、親子で来る方も多く子供達が将来長崎に住み、県内の事業所に就職していただきたいという思いがあるので、そういったことへの呼びかけ、きっかけ作り、気づきとなるものが、今後も更に効果的な場をもうけていただければと思う。

【事務局】

- ・ありがとうございました。今回開催できましたのは、関係機関及び訓練実施施設のご協力があり参加いただいたというのが大きかったと思う。

次年度以降も皆様のご協力があったからこそやれるところもあると思うので、検証も喜んでさせていただきます。忌憚のないご意見をいただいて次年度以降どうするか検討させていただきます。

重ねてご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。

【会長】

- ・委員から意見があったことは、事務局で検討し今後の取組みに活かしてください。

【事務局】

- ・本日、ご了解いただきました「令和6年度の長崎県職業訓練実施計画（案）」については、厚生労働省に進達し、本省の承認後、当局のホームページで公表予定です。委員の皆様方にも追ってお知らせします。

- ・来年度の第1回目の協議会は、10月又は11月頃を予定しています。

具体的な日程は、またあらためて連絡します。